

計器用変圧器の JCSS 校正

JCSS校正証明書は、IATF 16949、UL規格及び各種安全規格に対応できます。
校正結果は、ILAC/APLACのMRA（相互承認取決）を通じて、国際的に受け入れられます。

■ 対象測定器

高電圧から低電圧までを、安全に、精度良く測定することは大変な作業です。
このため、高電圧の測定は、計器用変圧器（VT）を用いて取り扱いが容易な電圧
に変換（変成）し、計器との組み合わせで測定する方法で用いられます。

VTは、絶縁が優れていること、
変成比が正確であることが重要です。



■ 主な定格

定格一次電圧	275/√3 kV ~ 110 V
定格二次電圧	27.5V、110 V、100 V、110/√3 V

■ 校正範囲及び校正の不確かさ

校正条件	電圧（定格一次電圧）	校正の不確かさ ($k = 2$)
周波数 50 Hz、60 Hz 二次負担 50 VA ~ 0 VA 二次負担力率 1	定格一次電圧の120% 以下 5% 以上 ただし、275/√3 kV 超過の場合は 定格一次電圧の110% 以下 5% 以上 また、電圧の上限は150kV	比誤差 0.01 % 位相角 0.4 分

校正の不確かさは、校正範囲で一番小さなものを記載しています。

■ 校正手数料

例 定格 3.3 kV/110 V、校正点 100 %、50 %、10 %、周波数 50 Hz、60 Hzの場合

基本料金	14,300 円	
点数料金	15,600 円	(2,600 円 × 6 点)
合計	29,900 円	(校正証明書を含む。税別)



日本電気計器検定所 関西支社 標準課

〒531-0077 大阪府大阪市北区大淀北一丁目6番110号

TEL : 06-6451-2356 FAX : 06-6451-2360

E-Mail : kousei-osk@jemic.go.jp URL : <http://www.jemic.go.jp>